小山台中学校だより

R5-05号 令和５年 9月 1日(金)発行

◆発　行　横浜市立小山台中学校　〈住所〉横浜市栄区小山台1-14-1
◆校　長　白田　淳子　〈電話〉８９２－７５１２
◆副校長　桝渕　祥子　〈FAX〉８９３－４６３８
◆教職員一同

夏休みが終わって

学校長　白田　淳子

夏休みが終わりました。充実した夏休みを過ごすことができましたか。どのニュースでも、今年は行動制限がない４年ぶりの夏休みであることが報じられていました。遠くへ旅行に行った人も多かったのではないでしょうか。私も１年遅れの還暦祝いの九州旅行を楽しんできました。憧れだった熊本の黒川温泉に行って、たくさんの露天風呂に入って、リフレッシュすることができました。

幸せなことに、休み中、事故や事件など心配するような連絡は学校になかったので、きっとみなさんは元気良く登校していると思います（原稿を書いているのはまだ夏休み中なので）。私が休み前の集会でお話した“命が一番大事”を守ってくれたのだと感じます。８月は台風が２つも上陸し、大雨が降って各地に大きな被害が出ました。また、猛暑だったので、川や海で遊んでいた子どもが亡くなるというニュースをたくさん聞きました。被害にあったり、事故で命を失ったりすることなど、その人は夏休みに入る前は想像もしなかったことだと思います。元気にまた学校で活動できるという日常に感謝です。

では、夏休みが終わった今、みなさんはこれからの学校生活をどうしていこうと考えましたか。部活を引退した３年生、いよいよ学校の顔となる２年生、一人前のコヤ中生となった１年生。どうでしょうか。

夏休みが終わると、あと１か月ちょっとで前期の終了です。今年度の半分が終わってしまいます。夏休み前の面談で、担任の先生からそれまで頑張ったことや、これからこういうところを改善してほしいなど、たくさんアドバイスをもらったと思います。そして長いお休みで、心と体の充実度は MAX のはずです。いよいよ力を発揮するときです。みなさんそれぞれが自分の目標に向かって本気を出す時だと思います。

私がみなさんに大事にしてほしいと伝えている１０の事柄の中に、

- **当たり前のことにしっかり取り組む**
- **やることに価値を見出す**

という項目があります。学校が始まるとやらなくてはいけないことがたくさん出てきて、面倒に感じると思います。でも、１つ１つじっくりと“当たり前”に努力してみてください。とかく私たちは、何かすぐ結果に結びつくような方法に心を奪われがちですが、“当たり前のこと”は、長い間ずっと行われてきた効果的な方法なのだと思います。必ず成果が表れて、あなたが成長するはずです。

また、１０月には文化祭があります。ぼーっとしていても行事は普通に始まって終わりますが、そこに自分なりの価値を見出して取り組んでみてはどうでしょうか。どうせやるなら受け身ではなく、自分だったらこうしてみようという気持ちでやってみてください。きっと「楽しかった」だけでない、自分にとって価値のある経験になるはずです。

夏の活動報告 2023

野球部

４月に行われた春の市大会までは部員数が足りず、本郷中学校と合同チームでの出場でしたが、１年生が入部し、単独チームで試合ができるようになりました。そして、迎えた初の大会が市総体でした。７月２日に行われた初戦で惜しくも敗れてしまいましたが、自校の選手だけのチームで試合ができることへの感謝、一人ひとりの部員の大切さを、部員、指導者ともに感じることができました。

７月からすでに新チームの大会も始まっていますが、勝利に対する意識と技術をより高め、強いチームを目指していきたいと思います。

サッカー部

厳しい暑さの中、日々の活動では、走って基礎体力を向上させ、実戦に近い練習やミニゲームなどを行いました。他校との練習試合も多く行いました。サッカーができる環境を当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れずに、次の秋季区大会に向けてこれからも練習に励んで頑張っていきたいと思います。

ソフトテニス部　女子

７月９日(日)に三ツ沢公園にて市総体個人戦、２日(日)に瀬谷本郷公園にて市総体団体戦が行われました。個人戦には１ペアが出場し、境木中と一進一退の攻防を繰り返しましたが、惜しくも敗れてしまいました。団体戦は六ツ川中との対戦で、１本目を勝ち取ることはできたものの、最後は激闘の末に敗れてしまいました。結果としては悔しいものとなりましたが、どの選手も最後まで諦めずに全力で戦うことができました。３年生は夏の総体で引退となりますが、部活動の３年間で得た経験を生かし、新たな目標に向かって進んでほしいと思います。

ソフトテニス部　男子

６月 25 日(日)に三ッ沢公園にて市総体団体戦、７月９日(日)に市総体個人戦が行われました。個人戦には２ペア出場し、そのうち１ペアが１回戦を突破し、２回戦にすすみました。団体戦では、富岡東中学校と激闘の末に敗れてしまいましたが、選手とベンチで応援する部員が一体となって最後まで戦う姿は、チームとしての成長を感じさせるものでした。チームを引っ張ってきた３年生は夏の総体で引退となります。ソフトテニス部の活動の中で感じたことを残りの中学校生活の中で生かし、より成長した姿を見せてくれることを期待しています。

バスケットボール部

３年生最後の夏の大会は、男子はシードのため２回戦からとなりましたが、初戦からかなりの接戦でなんとか勝利することができました。３回戦で４月の選手権大会で負けた相手とリベンジマッチとなりました。最後まで善戦しましたが、惜しくも敗退となりました。女子初戦もかなりの接戦でなんとか６点差で勝利をつかみましたが、２回戦で県大会出場チームと対戦し敗退となりました。男女とも最後まで諦めずに闘うことができました。先輩としてチームを引っ張り、盛り上げてきてくれた３年生に感謝です。新チームとなり、新たな目標に向かい、夏の厳しい練習を乗り切りました。新人戦に向けて頑張りましょう！

バレーボール部

７月８日、３年生の最後の大会である横浜市総体が行われました。１回戦は順当に勝ち上がりましたが、続く２回戦は予想外の苦戦となり、残念ながら負けてしまいました。自分たちの力を出し切る前に負けたので、とても悔しい結果になりました。それでも、ここに至るまでの過程は実によく頑張っていたと思います。日々の練習は部長を中心に練習を進めていき、声もよく出るようになり、ひたむきにバレーボールをやっていました。この頑張った姿は後輩たちにも大きな影響を与えたと思います。観戦に来られた保護者の方々にも熱い応援をしていただき、ありがたかったです。今、新チームも新たな目標を目指して、熱心に取り組んでいます。

剣道部

剣道部では１年生が加わり、新たな体制で日々稽古に励んでいます。少ない人数ではありますが、仲間同士支えあいながら力を伸ばしてきました。６月に行われた栄区中学校春季種目別剣道大会では、男子個人戦３年生１名が３位になり、男子団体戦では優勝することができました。また、７月に行われた栄区剣道錬成大会においては、中学生男子の部で準優勝することができ、日ごろの練習成果を発揮することができました。今後も、個々の目標に向けて稽古に取り組んでいきたいと思います。

夏の活動報告 2023

吹奏楽部

7月26日（水）の吹奏楽コンクール横浜大会に参加しました。7月1日に行ったホール練習ではまだまだ十分な音を奏でることができませんでしたが、そこからの3週間で自分たちらしい音を作り上げてきました。結果は、銅賞を獲得することができました。現在は、お祭りや文化祭などに向けて練習を行っています。コンクールでの経験を生かして、これからも心に響く音を届けられるように頑張っておりますので楽しみに待っていてください。

美術部

受験勉強に専念する3年生に代わって、いよいよ2年生新部長・副部長のもと、新体制での活動が始まりました。夏休みには、段ボールを使った立体作品作りに挑戦し、段ボール1枚1枚の色や厚さを活かした、様々な「動物のお面」を作成しました。各自で制作したお面は、現在美術室前の廊下に展示してあります。ぜひご覧ください。

また、文化祭に向けて、個人やグループでの制作活動にも熱意をもって取り組んでいます。完成した作品は文化祭2日目の展示発表に出展します。楽しみに待っていてください。

模型・イラスト部

昨年度から、「模型・イラスト部」と名称が変わり、3年4名、2年6名、1年4名の14名で活動しています。通常の活動は、学習室で行っています。自分の好きなものを準備して、和気あいあいとした雰囲気の中、模型を作ったり、イラストを描いたりしています。

夏休みは、文化祭の展示発表に向けて各自で制作活動を行いました。文化祭で3年生は引退です。ぜひ個性あふれる作品をご覧ください。

体操・新体操

体操では、横浜市中学校総合体育大会体操競技で個人通過の11名に入り、神奈川県中学校総合体育大会に進出しました。2人とも市総体・県総体と両方の試合で入賞することができました。市総体から県総体までハードな日程でしたが、堂々と演技を行いました。

新体操では、横浜市中学校総合体育大会新体操の部に出場しました。また、県大会の出場も果たしました。日々の練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演技を行いました。

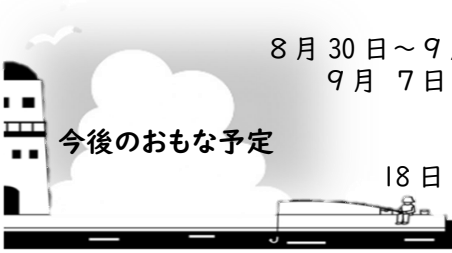
硬式テニス

硬式テニスでは、8月7日・8日に茨城県で行われた第76回関東中学生テニス選手権大会に出場し、ベスト4というすばらしい結果を残しました。また、8月20日、21日に香川県で行われた第50回全国中学生テニス選手権大会に出場しました。

英語科

7月26日に保土ヶ谷公会堂で横浜市立中学校生徒英語弁論大会の予選会が行われました。本校を代表して、3年生1名が出場しました。**“My Grandmother”**というタイトルでスピーチを行い、30人以上の出場者の中の10人に選ばれました。8月21日に西公会堂で開かれた、各グループ代表30人が出場した本選会で、1位を受賞しました。

また、8月18日に横浜吉田中学校で英語祭が行われ、3年生3名が参加し、たくさんのAETと自分の国について話し合いました。



今後のおもな予定

8月30日～9月1日：教育相談
9月 7日・8日：前期期末テスト
11日：個別支援級栄区交流会
16日：土曜参観・懇談会　給食なし
18日・19日：個別支援級合同宿泊
20日：個別支援級代休
22日：ジャージ登下校可最終日
26日：昼食なし・一斉下校
29日：3年生実用英語技能検定（昼食あり）
1・2年生　昼食なし下校

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

７月 24 日に南公会堂にて「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選会が開かれました。栄区を代表して、１年生１名が出場し、「**我が家にできる生産と消費**」というタイトルでスピーチを行いました。とても緊張するステージなので、多くの生徒が原稿を持って登壇する中、原稿を持たずにマイクの前に立ちました。落ち着いてジェスチャーを交えながら、持続可能な方法で生産することの大切さ、食材を必ず使い切ることの大切さを、力強く会場に語りかけました。

各区代表１８人のスピーチが終わった後、「令和４年度よこはま子どもピースメッセンジャーの活動報告」と「よこはま子ども実行委員の活動動画」が上映され、昨年度、本選会に出場した、本校３年生の活動の様子が報告されました。

上映の後、表彰式があり、審査員賞を受賞しました。

「よこはま子ども国際平和プログラム　子ども実行委員」として市長から委嘱され、これから１年間、活動に参加します。

一人ひとりが「国際平和のために、自分に何ができるか」考えることが、新しい活動への第一歩となります。その第一歩を、みなさんも一緒に踏み出してみませんか。

まちに支えられて…

横浜子ども会議「小山台中学校ブロック会議」

横浜市では子どもたちが主体となり、いじめの未然防止を目指し「横浜子ども会議」の取組を行っています。『つながる、広げる、いじめ未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること～』をテーマとして、小山台中学校ブロックでも７月５日（水）、ブロックの代表児童、生徒会本部役員、地域コーディネーター、主任児童委員の方や本校ＰＴＡの方にもご参加頂いてブロック会議を行いました。

本校では生徒会が主体となって中央委員会で話し合いを行い、全校生徒へいじめに関するアンケートを行いました。それにより、一人ひとりにいじめに対して考える機会を設け、「あいさつ運動」をさらに充実させていくことになりました。「あいさつを行うことにより、相手を知り、自分を知ってもらう、また、コミュニケーションツールとして、校内だけではなく、地域の方とも連携していきたい。」と発表を行いました。また、居心地のよい学校にするために、アドバイスをいただきながらその方法を話し合い、発表を行いました。相手を思いやる気持ち、相手の立場に立って行動することが大切という意見が多くでました。

なお、小山台中学校ブロックの取組は８月 31 日(木)、栄区交流会で発表する予定です。

地区懇談会

本年度は７月 14 日（金)、「安心・安全な住み心地のよい町づくり～あいさつ運動～」をテーマに分科会を行いました。

各分科会では、地域の方々のお話、中学校や各小学校の様子、そして生徒会本部役員から、子ども会議の発表を行いました。また、小菅ケ谷地区の『つながるプラン』と中学校のよりよい連携を目指し、『あいさつ運動』について話し合いました。あいさつにより、地域の方との関わりを大切にし、多くの人に自分を知ってもらうことで自己肯定感を高めることができるのではないか等、貴重なご意見を伺うことができました。今後、いただいたご意見を生徒会本部でまとめ、全校へ伝えていきます。

暑い中、町内会長様、民生委員様、小学校の先生方をはじめ多くの方にご参加いただきました。また本年度は、栄警察署、栄区役所・小菅ヶ谷ケアプラザ・社会福祉協議会の各関係機関の方々にもご参加いただき、ありがとうございました。準備運営に携わってくださった校外委員会の皆様には心から感謝申しあげます。

保護者のみなさまへ

【文部科学省より　メッセージ(一部抜粋)】

長期休業明けには、児童生徒等の自殺者が増加する可能性があり、この時期には、不安や悩みを抱える児童生徒等が増えることも考えられます。保護者の皆様におかれましては、以下のような児童生徒等の態度に現れる微妙なサインに注意を払っていただき、不安や悩みの声に耳を傾けて適切に受け止めていただくとともに、学校、家庭、地域などの関係機関で緊密に連携し、不安や悩みを抱える生徒が孤立することがないよう、地域全体で支援していただきますようお願いいたします。

サイン
- **これまでに関心があった事柄に対して興味を失う**
- **成績が急に落ちる・注意が集中できなくなる**
- **身だしなみを気にしなくなる・健康管理や自己管理がおろそかになる**
- **不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな体の不調を訴える**

電話やメール、ネット等の相談窓口

（リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

本校では、８月 30 日（水）から教育相談を行い、夏休み中や明けの生活や学習について心配なことや不安なこと等、担任と生徒が向き合う時間を設けています。ご家庭においてもご心配なこと、ご不安なことがありましたら一緒に考えていきたいと思いますので、ご連絡ください。